

ひよひよび

企業

探

訪

2023 学生が聞く

4

神戸市や東播、北播エリアで、ヤクルト製品の宅配事業を展開。地域の人々の健康に貢献することを目指し、そのための情報発信にも積極的に取り組んでいる。甲南大の西村順二教授のゼミ生が阿部恭大社長(32)を訪ねた。

―事業内容は。

「エリア内に31の販売店を構え、約530人のヤクルトレディが乳酸菌飲料や健康食品などを宅配しています。自動販売機や量販店、病院向けなども合わせて販売数は1日約17万本。昨年は(前年から全国展開した)Yakult 1000が大ヒットし、他の商品を手に取ってもらえる機会も増えました」

―掲げる目標は。

「創業70周年に向けて、愛飲率(エリア内の居住者に占める購入者の比率)を現在の

兵庫ヤクルト販売の阿部恭大社長を訪ねた甲南大3年の時吉朱音(あかね)さん。いずれも神戸市西区玉津町高津橋



メモ 1954年神戸市兵庫区で創業。70年同市西区へ本社を移転。2022年11月期の売上高は約55億円。従業員335人。24年春の新卒採用予定は3人。神戸市西区玉津町高津橋137の1。☎078・912・8960

兵庫ヤクルト販売(神戸市西区)

阿部恭大社長(32)

10・6%から13%に引き上げたい。宅配は対面で対話できるのが強みで、継続購入につ

ながる。会えない時も、手紙のやりとりなど、対面に近い形になるよう工夫しています」

「地域住民の健康に貢献するため、食育事業として幼稚園や学校での出前授業、チューブでの情報発信をして

地域住民の健康に貢献

います。高齢者の見守りに加え、老人ホームの紹介も始めました。フィットネスジムの開設も検討しています」

―課題は。

「人材育成です。何げない会話から人間関係を構築する力を磨き上げる必要があります。また、人材の定着を促す仕組みづくりも進めています。20〜30代で子育て中の人が多く、保育所を6カ所運営。雇用形態は個人事業主が7割ですが、安定収入を希望する人は、正社員に転換もできます」

―求める人材は。

「地域の健康づくりに関心があり、向上心のある人。人を育てることに興味がある人がいいですね」

(まとめ・塩津あかね)



ヤクルトの人気商品とキャラクター「ヤクルトマン」の縫いぐるみ